

# 井川町教育委員会 5月定例会会議録

1. 日 時 平成30年5月29日(火) 午後2時30分～3時30分

2. 場 所 井川義務教育学校 ランチルーム

3. 出席委員 六郷博志 幡宮明貞 伊藤守 小武海文恵 齋藤正仁

4. 会議に出席した事務局職員 事務局長 伊藤一彦 鷺谷幸平

5. 報告事項

①教育委員会、公民館、学校関係行事予定について

②大会等の結果について

③平成30年度教育委員会活動計画(案)について

④教職員のための多忙化防止計画(案)について

⑤井川町学校評価(案)について

⑥井川町学校応援協議会(案)について

⑦井川町いじめ防止基本方針(案)について

⑧その他

6. 会議の経過

委員長 開会あいさつ  
(挨拶要旨)

2ヶ月が立ちました。この間、全国町村教育長会議と東北町村教育長会議に参加させていただき、3点の話題がありました。1つ目は働き方改革について教職員の働き過ぎをどうするか。2つ目は新学習指導要領について道德と英語の対応に苦慮している。3つ目は小中一貫の件でありました。多くの教育委員会が、一貫校にすべきか義務教育学校にすべきか大変迷っている。青森県の中泊町でも2年後いずれにするのか本校を視察したいとお話を受けている。本日はいろいろ報告がありますがよろしくお願ひします。

教育長 (議事録署名員を提案)

事務局長 (行事予定と大会等の結果を報告)

教育長 (平成30年度教育委員会活動計画(案)について説明)

委員 年間計画を立てていただき、今後のスケジュールを把握できるので大変ありがたい。

委員 なんとなく慌ただしい印象ですので、大きな学校行事の前後は外部に出ずに、公民館で教育委員会を開催すべきではないか。

教育長  
教育長  
では7月、8月、10月は公民館で開催することでよろしいか。  
(全員に意見を求め、全員一致で承認)

教育長  
委員  
(次に教職員のための多忙化防止計画(案)について説明)  
先週、教育委員・教育長会議が県で開催され、多忙化防止計画について説明と議論がされていた。教員は残業手当が支給されず、教職調整手当として給与の4パーセントを残業の有無にかかわらず支給されている。

この多忙化防止計画については、中央教育審議会で答申がされており、県及び他市町村もすべて作成しているが内容に違いがなかった。しかし、協議の中で問題視されたのが、部活動の時間を守らせるためにどのような取組が必要か難しいな・・・で終わってしまった。また、学校の仕事を精選し、学校がやらなくてもよい仕事を行っていないか、教員がやらなくてもよい仕事をやっていないか、教員がやるべき仕事であっても効率よくできないか。との話もあったが、なかなか難しい。

あと1つは保護者や地域との連携を築かなければ部活動に対しては上手く進まないと思われる。

委員  
今でも部活動を指導する教職員は良い先生だという認識があるのだろうか。計画については立てることとなるが、学習指導要領で道徳や英語を記述式で行うことは、とても時間がかかる。その半面時間を短縮することを通達していることについて、いったい何をどのように削減すればよいのか具体性が無いように思える。一番簡単なのは教職員を増やすことだと思うが予算的に無理だとすれば、学校の本来の仕事では無い部活動の時間を削減するしかないが、一生懸命に指導している教員もいる。

委員  
どこの教育委員会も大変苦慮しているが、国の通達には逆らえないのが現状であると思う。

委員  
タイムレコーダーの記述があるが、教職員に時間外手当が無いのであれば、なぜタイムレコーダーで管理する必要があるのか。現在、パソコン管理で行っている様だがパソコン管理の不都合があるのか。

委員  
パソコン管理は紙での申告と同じように自己申告となっており誰でも修正が可能となってしまう。

教育長  
委員  
タイムカードでの管理は国も強く進めている。  
退勤時間を管理する意味は、教職員に何かあった際の労働状況の証拠となるため、教職員組合からも管理するよう求められている。

教委長 今の議論を踏まえ、次回に正式に提案したい。

教育長 (次に井川町学校評価(案)について説明)

教育長 (続いて井川町学校応援協議会(案)について説明)

委員 コミュニティスクールという言葉は十数年前に出た認識ですが、この言葉の意味が解りづらいので、学校応援協議会という言葉は非常にわかりやすいので、時間をかけて意見を伺って行くのであれば良いと思う。

委員 学校運営協議会と混同されるとうまくないので、あくまでも学校を応援する形で、学校応援協議会の名前の通りとなれば良いと思う。

教育長 現在、学校を応援しようとする地域の方々システムがバラバラであり、その各組織を取りまとめ、機能させるための組織に集約できれば学校には大きな力になる。

委員 学校で今困っていることを、どの組織で対応可能となるのか話を行い、良い方向に持って行くことができれば良い。学校側で対応してもらいたいことは沢山あると思う。

委員 学校を取り巻く団体等様々あると思うが、その団体がどのように学校に関わりを持っているのか、整理した上で話し合いを持ったほうが意見を言いやすいと思う。

教育長 正にその通りであり、新たな組織を作るのではなく整理統合しながら、学校へ提示したいと思う。次回に詳しい資料を提示したい。

教育長 (次に井川町いじめ防止基本方針(案)について説明)

教育長 (続いてその他として、交通事故に伴うその後の対応について、通学路の点検を行うことと、義務教育学校を通じて登下校の見守りをPTAに依頼を行っていることについて説明を行った。)

事務局長 (次回の6月定例会日程を平成30年6月25日(月)午後2時で提案し、各委員から了承)

教育長 (他に無いことを確認して終了)